

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	1	選択
担当教員			
蜂須賀 のぞみ			
火3、4			
添付ファイル			

科目の概要	<p>本科目は、栄養教諭の免許取得のために必要な栄養教育実習のための科目である。事前指導では教育実習内容全体を把握し、教育実習に必要な知識の習得と心構えを養うとともに、実習で行う研究授業の準備、模擬授業の実施・評価・改善を行い、教育実習が意義あるものとなるよう準備する。事後指導においては教育実習を振り返り、自己評価して改善に取り組む。実習を通して栄養教諭の職務・役割について理解し、教育者としての人間性を養うことを目的とする。また次年度に栄養教諭を目指す学生に、実習での学びを伝達する。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 授業のガイダンス、教育実習の目的と意義、実習内容や心構え、実習校の確認</p> <p>第2回 栄養教育実習の準備 栄養教育実習の内容、方法、留意点について</p> <p>第3回 教育実習の課題検討 実習校種別に沿った特性の検討</p> <p>第4回 栄養教諭の位置づけと役割 学学校教育活動運営組織と栄養教諭の役割について概説</p> <p>第5回 学校給食の管理 学校給食の意義・給食指導についての概説と、給食週案の作成</p> <p>第6回 給食時間における食に関する指導 給食週案に沿った給食時間における指導の検討</p> <p>第7回 学級活動における学習指導 学級活動における指導の事例研究</p> <p>第8回 学習指導案の作成と教材研究 1校時（45分）の学級活動等における食に関する指導案の作成 ・授業展開、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等について研究する</p> <p>第9回 模擬授業の演習および相互批評① 1名ずつ、1校時（45分）の学級活動等における食に関する指導の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第10回 模擬授業の演習および相互批評② 1名ずつ、1校時（45分）の学級活動等における食に関する指導の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第11回 模擬授業の演習および相互批評③ 1名ずつ、1校時（45分）の学級活動等における食に関する指導の模擬授業を行う。 ・模擬授業の演習後、授業展開、指導力、学習教材、板書、ワークシート、学習者への声かけ、支援の在り方等の相互批評を行う。</p> <p>第12回 模擬授業総合評価 学習指導案、授業展開等の評価をする。</p> <p>第13回 教育実習中のコミュニケーションスキル 教職員や児童・生徒との対応能力の向上、対応を工夫する演習を行う。</p> <p>第14回 栄養教育実習事後指導 教育実習終了後のまとめ、振り返り、実習先への連絡、報告会等について</p> <p>第15回 教育実習準備ガイダンス 教育実習中の留意事項、実習ノートの書き方、実習のための事前準備の説明</p>
学習到達目標	<p>①教育者としての資質、人格、識見を養い、栄養教諭としての基礎知識・技術を身に付ける。</p> <p>②教育実習に備えて、学習指導案作成、模擬授業の展開などの実践力を身に付ける。</p> <p>③児童・生徒への関わり方、コミュニケーションのとり方を研究し、教育実習に備える。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び演習方式 <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション、グループワーク、模擬授業を随時取り入れる。 <p>【ICTを利用した双方向授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じてオンライン、オンデマンドで実施 <p>【その他特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回2コマ連続で行う

成績評価の方法	<p>【評価項目】 学習指導案レポート、模擬授業 <授業構成（授業展開）、指導力、学習教材、板書、ワークシート>、授業参加意欲・態度</p> <p>【割合】 学習指導案レポート：50% 模擬授業：40% 授業参加意欲・態度：10%</p>
教科書・テキスト	栄養教諭論 ―理論と実践― 建帛社（3年次に購入済み） 学習指導要領 文部科学省（3年次に購入済み）
参考書	特に指定しない
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	①実習校に数回訪問し、実習についての打ち合わせ及び実習校の実態把握をする。 ②食に関する指導の事例、授業法の研究を行う。 ③授業展開のための学習教材作り、ワークシート作成等について時間外で準備をする。
履修上の留意事項	・「教職に関する科目」「栄養にかかる教育に関する科目」が 履修済みであること。 ・教育者としての人格を備え、人間性を養うこと。
オフィスアワー	講義修了後、研究室にて
課題に対するフィードバックの方法	受講者間で課題を共有、整理し、実習に向けて改善する。
実務経験	管理栄養士 学校栄養職員 栄養教諭 指導主事 小学校教頭
その他	授業時間数に制限があるため、期日までに学習指導案作成、教材作りなど演習の準備を行うこと。